

創造・参加・実践
No.667

最新のJR西労組運動をチェックしよう!
JR西労組HP (<http://www.jrw-union.gr.jp>)
 QRコード
LINE@
はじめました!
「友だち追加」から「ID検索」または
「QRコード」で登録!
@dzc0159s

JR西労組 WEST UNION

西日本旅客鉄道労働組合
〒530-0012 大阪市北区芝田2丁目1番18号
西大阪ビル9階
TEL06-6375-9869㈹ JR071-7155㈹
(FAX)06-6373-4133 JR071-7151

発行責任者 上村 良成
編集責任者 石田原 潔



規模を縮小し、ソーシャルディスタンスを確保しての開催となった



「雇用を守る年にする」と決意を述べる上村委員長

コロナ禍解決に力強く取り組むと荻山JR連合会長

新春セミナーを開催 2021年安全を誓い前進を期する集い

冒頭、上村委員長の挨拶
で、組合員に対し新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見えない中、感染不安を抱えながら、公共交通機関としての使命を果たし続けていたことに敬意を表した。

さらに、年末の計画運休対応や、山口線での停車前にドアの戸閉めランプが点灯し、ドアが開く重大インシデントが発生したものの、終夜運転もない、例年ない年末始輸送を完遂した。社会や生活様式の変化を表した。

来賓には、JR西労組出身のJR連合荻山会長と中山組織・政治部長を迎えて、代表として荻山会長から安全確立コロナ禍による課題の解決に向け、引き続き力強く取り組むとの挨拶を受けた。

そして、法政大学経営大

学院院長・マネジメント研究科の藤村博之教授に

中央本部は、1月6日(水)にホテルグランヴィア大阪に於いて「2021年安全を誓い前進を期する集い」を開催した。例年は、各地本總支部、国會議員友誼団体等から総勢300名が集まり、新年を迎え、安全への誓いを新たにしているが、今年は、コロナ禍の中で、感染リスクに留意し、飲食は行わず規模の縮小、ソーシャルディスタンスを保ち「新春セミナー」形式として開催した。

冒頭、上村委員長の挨拶で、組合員に対し新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見えない中、感染不安を抱えながら、公共交通機関としての使命を果たし続けていたことに敬意を表した。

さらに、年末の計画運休対応や、山口線での停車前にドアの戸閉めランプが点灯し、ドアが開く重大インシデントが発生したものの、終夜運転もない、例年ない年末始輸送を完遂した。社会や生活様式の変化を表した。

来賓には、JR西労組出身のJR連合荻山会長と中山組織・政治部長を迎えて、代表として荻山会長から安全確立コロナ禍による課題の解決に向け、引き続き力強く取り組むとの挨拶を受けた。

そして、法政大学経営大

上村委員長、長谷川社長が挨拶 「労使でこの難局を乗り越えよう」

講演のなかで、藤村教授は、「経営者は、自らの利益を追いかけるが、それによって本当の企業価値を損ねてしまうかもしれない。経営者に再考を促すのが労働組合の役割である」と述べられた。さらに、「議論するためには考えなければならない。考える習慣を身につけると、変化対応力が高まり、考え続けることで変化対応力が身につく」と述べられた。

また、集いの結びには、JR西日本の長谷川社長が訪れ、挨拶の冒頭で、コロナ禍の中、

年末年始それぞれの職場で安全安定輸送を支え、様々な事業分野において、お客様へ安全・快適なサービスを提供し、雪や風の中でも、尽全力を述べられた。

そして、続けて「昨年秋に

藤村教授が提起「経営者に再考を促すのが労働組合」

より強靭な企業グループの再生を誓う長谷川社長

ない、以前より強靭な企業グループとして再生させていく決意である」と述べられ、

企業として、まさしく、「この一年が全てを決める」と述べられた。

そして、続けて「昨年秋に

藤村教授が提起「経営者に再考を促すのが労働組合」

より強靭な企業グループの再生を誓う長谷川社長

が全てを決める。

企業として、まさしく、「この一年が全てを決める」と述べられた。

そして、続けて「昨年秋に

藤村教授が提起「経営者に再考を促すのが労働組合」

より強靭な企業グループの再生を誓う長谷川社長

が全てを決める。